

みなさん、「おはようございます！」そして「あけまして！おめでとうございます！！」「今年も、よろしくおねがいします！」。みなさんも知っている通り、2度目の緊急事態宣言が出された中、こうして元気なみなさんを迎えられたことを学校中の先生や主事さん方がみんな喜んでいました。2週間ぶりに、元気な顔が教室にそろいました。2年生には、同じ市内の小学校から来た新しい友達が増えています。仲良くしてください。

まずはお礼です。昨年の暮れに、3年生は医療従事者の方々へのお礼と励ましのメッセージを書いてくれました。そのメッセージは都内の医療機関に届けられ、命を守る仕事をしてくださっている看護師やお医者さんたちを勇気づけてくれました。命を守ると言えば、谷戸小の小さな命、チャボのミルクの命も、5、6年生の飼育委員会のみなさんがお世話をしてしっかりと守ってくれました。どうもありがとう。

2学期は、みんなで「心つなぎ」をがんばりました。心をつなぐとは、周りの友達を大切にすることでした。新型コロナウイルスの感染が収まらない今、一人一人がマスクをしたり、手洗いをしたり、友達との距離をしっかりと保ったりという感染防止のやくそくをきちんと守ることは、みんなの健康を守ることであり、友達を守ること、大切にすることでもあります。みなさん、どうか、学校でも、お家にいる時も、感染防止のやくそくを守って自分や家族の健康、そして友達を守ってください。

さて、みなさんは、去年の12月に話題になった小惑星探査機「はやぶさ2」を覚えていますか。はやぶさ2は、宇宙のはるか遠くのリュウグウという星に行って、貴重な砂粒を持って帰ってきました。地球を出発してから戻って来るまでに6年もかかっていますので、1年生が生まれたころに出発したことになります。

はやぶさ2が持ち帰った砂粒からは、命の誕生の秘密や宇宙について大きな発見につながる事が期待されています。はやぶさ2の成功は、私たちには、本当にそんな遠くまで長い時間をかけていってきたのか信じられないほどの大きな快挙ですが、携わった人々にとっても絶対できるはずのない夢物語・・・だったのではなく、「絶対できる」と信じて行われたチャレンジでした。すごい自信です。その自信の基になったのは、初代はやぶさの経験を活かした、ものすごくたくさんの努力と失敗だったそうです。

ここで、谷戸小に話題を戻します。3学期は、今の学年のまとめであるとともに、次の学年への助走でもあります。助走とはできるだけ高く、できるだけ遠くに飛ぶために勢いをつけて走るのですが、みなさんが、次の学年に向かって大きくジャンプするために、この3学期は「チャレンジする」学期にしてほしいと思います。今、できるようにしたいこと、なりたい自分がありますか。ぜひ、この3学期にできるようにしたいこと、なりたい自分の姿を描いてください。そうして、はやぶさ2の成功にならって自信をもってやりとげられるように努力すること、がんばることにチャレンジしてください。努力がチャレンジです。そして、努力は人を裏切らない。みんななら、必ずできる。なりたい自分になれる。自分を信じてください。

6年生にとっては小学校生活最後の学期です。6年生も、それ以外のみなさんも、なりたい自分に向かってチャレンジする、よい3学期を過ごしてください。がんばりましょう。